

平成25年 2月1日(金)

広瀬川における活動の裾野を広げること、市民団体、企業、市民の交流を図ることを目的に『フォーラム・広瀬川の魅力づくりと市民活動』を開催しました。



「資源を活かした村づくり取り組み」

山形県鮭川村 村長 元木 洋介さん

鮭川村の産業は農業が主力であり、生産高は概ね稲作とキノコが半々程度です。そのほかにイチゴやバラの栽培なども行われています。鮭川での漁業関係ではアユ、モクズガニ、サケが利用されています。全般的に川の生物が減少してきたため、放流活動なども積極的に行っています。伝統芸能である鮭川歌舞伎は250年の歴史があり県の無形民俗文化財に指定されており、毎年6月第二日曜日に公演が行われています。まごどさけがわ「鮭まつり」では、なんといってもサケのつかみどりがメインイベントです。県外からも沢山の観光客が鮭川村に訪れます。鮭まつりを行うことで、漁業組合が活性し、サケの釣獲調査などの取り組みもはじまりました。サケの稚魚を育て放流する活動も行っていますが、村内だけでなく荒川区の小学校とも連携しております。このようにないものを使うのではなくあるものを有効的に使うことで、都市の真似ではない、独自の村づくりをしていくことが大事だと考えています。

「広瀬川におけるサケの現状と課題」

広瀬川サケプロジェクト 菅原 正徳さん

体長70cmをゆうに超える魚が広瀬川を泳ぎ、私たちの身近な場所で命のたすきを繋ぐ姿まで見せてくれる。様々な環境に翻弄されながらも、これまで延々と命を引き継いできた、ひときわドラマチックな魚<サケ>をもっと多くの人に知ってほしい。そしてそのサケを育む広瀬川にも目を向けてほしい。このような想いからく広瀬川サケプロジェクトをスタートしました。出前講座・観覧会では、幼稚園、小学校などを対象にサケなどの回遊魚に関する生態や川の環境に関する授業と、川でのサケの産卵行動などの観察を行っているほか、サケの飼育観察水槽の設置などを行っています。サケを取り巻く課題は数多くありますが一団体でできることはわずかです。これまで以上に市民に周知し賛同者を増やしていきたいと思います。

実行委員会への加入について

広瀬川1万人プロジェクトではプロジェクトの目的に賛同して集まった企業・団体などが実行委員会をつくって活動しています。加入の要件はプロジェクトの目的に賛同し、以下の「実行委員会の役割」を担っていただける企業・団体となっております。この趣旨をご了承いただき、私たちと一緒に活動していただける企業・団体を募集しています。加入申込書は、公式サイト<http://10000p.blog76.fc2.com/>からダウンロードいただけます。また、清掃活動への参加や実行委員会への協力については個人での参加も大歓迎です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

実行委員の役割

- 1.協賛金の提供** 広瀬川1万人プロジェクトへの協賛金(1口10,000円/年度毎)のご提供
- 2.事務局業務への協力** 流域一斉河川清掃実施にむけた、事務局業務への協力や、新規事業の企画運営業務などに関する協力
※以上の役割りは、ひとつでも両方でも結構です。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

「清流を守ろう」

NPO法人広瀬川の清流を守る会 代表理事 日下 均さん

仙台の象徴「広瀬川の清流」を市民の立場から次世代につなげるために、様々な活動を行っています。年間10回の清掃のほか、仙台開府400年の際には、政宗公が好きだったアユのつかみ取りを行う「政宗さんの川狩り」を開催して以来、毎年大勢の市民の方楽しんでもらっています。大橋の擬宝珠に「仙人橋下 河水千年 民安国泰 孰与堯天」と刻んだように、広瀬川の流れが未来永劫に続くように、仙台の民も国も安泰であってほしいと願った政宗公の夢を次世代に引き継いでいきたいと考えています。そのためには複雑で市民にとって分かりにくい構造となっている河川管理体系の問題を解決していくことも今後求められます。

「川づくりとCSR」

NPO法人水・環境ネット東北 理事 芦野 眞一郎さん

CSR(企業の社会的責任)は大企業に比べ中小企業への浸透がまだ不十分であるといえます。持続可能な社会をつくるために企業も役割を果たしていこうというものですが、フィロソフィー、メセナ、ボランティアといった言葉としばしば混同されることが多いという調査結果が環境省の行ったアンケートからわかっています。企業の環境活動への参加は重要であり、また企業のノウハウがなければNPOの活動自体も成り立たなくなってきました。中小企業はたくさんある事例の中からやれるものをするものを選ぶべきです。そのためには地域のニーズをくみ上げたり、ネットワークをもつNPOとの協働が不可欠であります。

「貸しボート再開の経緯と運営状況」

NPO法人広瀬川ボートくらぶ 事務局長 鈴木 徹郎さん

以前、広瀬川の風物詩となっていた貸しボートは、占有許可が一代限りということで、屋台と同様に無くなってしまいました。当会の代表がどうしてももう一度川面にあのころの賑わいを取り戻したいと行政に掛け合ったところ、NPO法人が運営主体であれば営業が可能であるということから会を設立しました。そして平成21年8月2日に貸しボートの再開にこぎつけました。20年ぶりに復活したということで、その日はてんてこ舞いの忙しさでした。地域からは人が集まることで生じる心配が数多く出ましたが、これまで4年間、全くそういった問題は出ておりません。

企業の社会的責任等(CSR活動)に関する参加証明書の発行について

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会の主な活動である流域一斉河川清掃は、国土交通省、宮城県、仙台市など公共事業入札総合評価制度におけるボランティア活動への参加実績として、評価対象となっています。実行委員会に加入していただいた団体・企業には、清掃活動に参加いただいた場合、参加証明書を発行できます。詳しくは下記事務局までお問い合わせ願います。

お問い合わせ 広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 事務局(広瀬川市民会議)
TEL080-7004-4932 FAX022-739-8814 E-mail hirosegawa_shiminkaigi@yahoo.co.jp
〒989-3434 仙台市青葉区新川字佐手山 5-124

広瀬川 1万人プロジェクト2012

杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる広瀬川にするため、100万都市仙台の1%にあたる1万人をキーワードとして、市民・企業・行政が連携して様々な取り組みを行っています。

平成24年 活動報告



主催 広瀬川1万人プロジェクト実行委員会



(株)IHインフラシステム/JFEエンジニアリング(株)/NTTコムウェア東日本(株)/アイサワ工業(株)/旭イノベックス(株)/アサヒビール(株)/アズビル(株)/いであ(株)/伊東工業(株)/(株)エコリス/速藤興業(株)/奥田建設(株)/鹿島建設(株)/河北建設(株)/川田建設(株)/川田工業(株)/グリーンパワー作並/栗田工業(株)/(株)栗本鐵工所/建設塗装工業(株)/(株)建設技術研究所/(株)コウリョウ/古久根建設(株)/佐藤工業(株)/(株)サトー技建/佐藤鉄工(株)/三建設備工業(株)/サンコーコンサルタント(株)/三洋テクニックス(株)/三洋テクノマリン(株)/(株)三洋設計/(株)芝玄/庄磁工業(株)/情報労連宮城県協議会/wing(株)/水道機工(株)/(株)水機テクノス/西武建設(株)/星和電機(株)/(株)銭高組/仙建工業(株)/(社)全国上下水道コンサルタント協会/仙台環境開発(株)/仙台市/仙台市カヌー協会/仙台南地区広瀬川環境美化推進協議会/大日本コンサルタント(株)/(株)大和エンジニアリング/大和小田急建設(株)/大同機工(株)/瀧上工業(株)/(株)鷹泉閣岩松旅館/千田建設(株)/(株)中央コーポレーション/中央コンサルタント(株)/東京コンサルタント(株)/(株)東京鐵骨橋梁/東光電気工事(株)/東北三建サービス工事(株)/東北緑化環境保全(株)/(株)東洋技研/東洋熱工業(株)/飛島建設(株)/中野建設コンサルタント(株)/名取川水系水質汚濁対策連絡協議会/ニッカウキスキー(株)/日本工営(株)/日本上下水道設計(株)/日本ロード・メンテナンス(株)/(株)間組/パシフィックコンサルタント(株)/(株)バスコ/東日本コンクリート(株)/広瀬川市民会議/NPO法人広瀬川ボートくらぶ/(株)深松組/(株)フジタ/フジタ道路(株)/(株)復建技術コンサルタント/プリアストーンタイヤジャパン(株)/北部広瀬川愛護推進協議会/(株)丸島アクアシステム/(株)丸徳鉄工/(株)みずほ電設工業/(株)宮城衛生環境公社/宮城県建設業青年会/(社)宮城県測量設計業協会/美和電気工業(株)/山川建設(株)/(株)ヤマガキ/横河電機(株)/(株)渡辺技工

平成25年3月現在 92団体

協力/国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 環境省東北地方環境事務所 宮城県 仙台市 名取市
後援/仙台市河川愛護会 仙台商工会議所 (財)仙台観光コンベンション協会

公式サイト <http://10000p.blog76.fc2.com/>

より多くの市民が親しめる広瀬川をめざして

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会の主催で毎年4月と9月に
広瀬川流域の一斉清掃を実施しています。
4月はアースデー9月は「広瀬川の清流を守る条例」が
1979年9月28日に公布されたことにちなんでいます。

広瀬川流域一斉清掃

第13回 春の清掃

平成24年 4月21日(土)

第14回 秋の清掃

平成24年 9月29日(土)

参加者の声

- 4月の清掃時は粗大ゴミが目立ちましたが、9月は弁当から、ペットボトル、空き缶等が大半を占め、個人のマナーの悪さが目につきました。
- パーキングからのポイ捨てがほとんどと思われ、マナーがなってないことが残念です。
- カヌーで水面付近のゴミを拾うことができたので充実した清掃活動でした。
- 年々ゴミが少なくなって川がきれいになるのは良いことです。清掃活動の効果が大きいと思います。また来年も参加したいです。
- 何気なく歩いているときは、ゴミの無いきれいな河川敷にえませんが、大勢で探すとこれだけたくさんのごみが見つかることに感銘を受けました。
- 雑草の背丈がかなり高く奥までは入っていただけなかったので、雑草の草刈ができていればもっと奥まで清掃できると思います。

フォトコンテスト

清掃活動や広瀬川の様子を撮影し応募下さい。
選考された写真はホームページなどで紹介される他、
素敵な景品をプレゼント!



菅井さん(宮沢橋会場)



梶谷さん(牛越橋会場)



鶴田さん(関上会場)



田中さん(激橋会場)

たくさんのご応募ありがとうございました。



◆会場毎の参加者数とゴミの量

●2012年／春

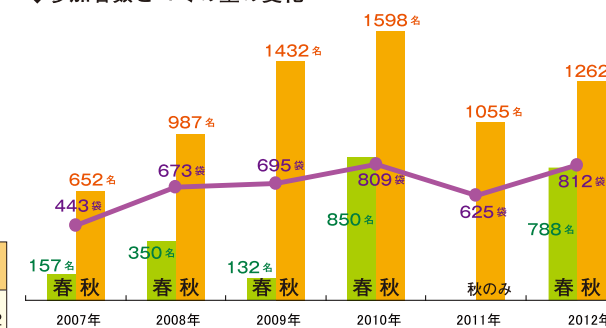
	作並	激橋	宮沢橋	関上	合計
参加者数	158	230	300	100	788
ゴミの数	137	30	100	205	472

●2012年／秋

	作並	野川橋	折立	牛越橋	激橋	大橋左岸	大橋右岸	米ヶ袋	宮沢橋	八本松	富田	太白大橋	名取川鉄道橋	関上大橋	合計
参加者数	90	44	18	93	176	146	89	63	120	67	29	22	231	74	1,262
ゴミの数	12	5	25	20	30	15	17	16	5	15	22	45	33	80	340



◆参加者数とゴミの量の変化



●延べ参加者 8,372 人
●収集ゴミ袋 4,000 袋以上

※ゴミの量は家庭用ゴミ袋大換算です

これまでの主な経過

- 2002年
 - NPO法人水・環境ネット東北の発案により、仙台市の環境社会実験として「広瀬川1万人委員会」発足。
 - 広瀬川流域の6会場で一斉清掃を実施。
- 2006年
 - 「広瀬川1万人プロジェクト」に名称を変更し、実行委員会体制とする。
- 2007年
 - はじめて一斉清掃を春と秋の年2回行う。
 - 四季の広瀬川を楽曲にした弦楽五重奏曲「広瀬川」の制作発表に協力。
- 2008年
 - 作並会場を担当する企業と市民団体が主体となり、川に親しむイベント「作並かつぱ祭り」を開催。
- 2010年
 - 源流散策会やサケの観察会、広瀬川温熱環境測定への協力。
- 2011年
 - 東日本大震災の発生により、秋の一斉清掃のみ実施。
 - フォーラム 震災の記憶～巨大大津波とどう向き合うか～を開催。

